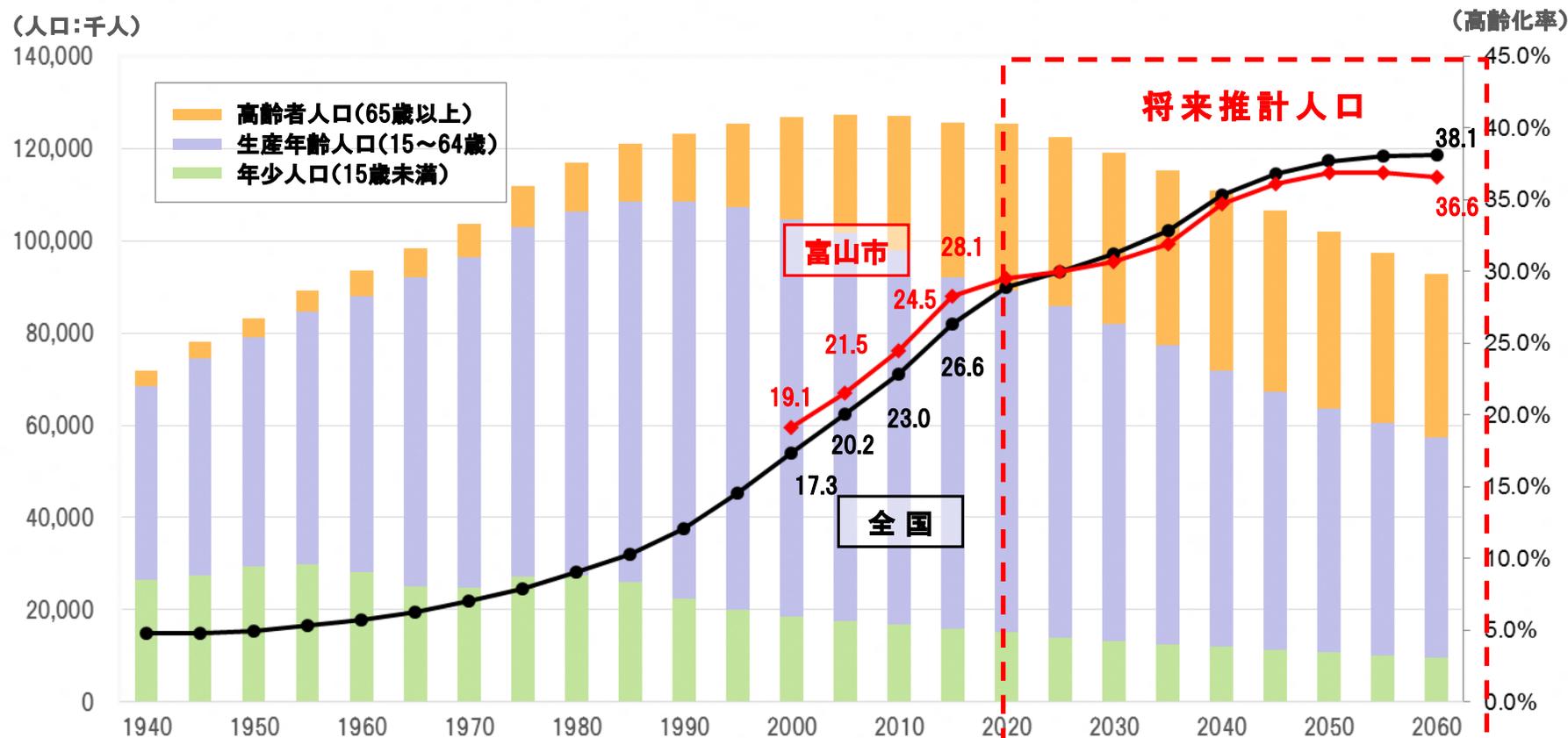




未来を共に創造するESD ～持続可能な付加価値創造都市とやまの挑戦～

地域や社会の課題 ～人口減少・超高齢化の波～

日本の総人口は平成20年をピークに減少に転じ、高齢化率は今後も上昇する見込み
 ⇒時代の変化に柔軟かつ迅速に対応し、未来を見据え、将来の世代に責任が持てる、「**持続可能な都市経営・まちづくり**」と、その担い手育成が課題



【出典】国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集(2017年版)」「日本の将来推計人口(2017年推計)出生中位(死亡中位)推計」、富山市「第2次富山市総合計画(2017-2026)」

SDGs未来都市が目指す将来像 ～富山市SDGs2030ビジョン～

【目指す将来像】

コンパクトシティ戦略による持続可能な付加価値創造都市の実現

【取組方針】

都市のかたち: 公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりの実現
地域生活拠点とのネットワーク機能をもつ「コンパクトシティ」へ

市民生活: ヘルシー&交流シティの形成と質の高いライフ・ワークスタイルの確立
地域が一体となり健康・子育て・教育環境を充実させる「ヘルシー&交流シティ」へ

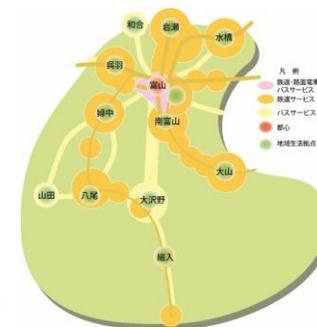
エネルギー: セーフ&環境スマートシティの実現と地域エネルギー・マネジメントの確立
レジリエンスと脱炭素化等の取組みの融合による「セーフ&環境スマートシティ」へ

産業: 産業活力の向上による技術・社会イノベーションの創造
市内企業の活性化や新技術の活用等による「技術・社会イノベーション創造都市」へ

都市・地域: 多様なステークホルダーとの連携による都市ブランド力の向上
官民連携・ダイバーシティ・国際展開による都市ブランド力を高めた「選ばれる都市」へ



SDGsをキーワードに、多様なステークホルダーと連携しながら、地域の課題解決に向けた取り組みを探求する「**SDGs教育**」を推進



ESDで「育てたい人間像」→ 地域で協働して未来を担う人材

◆富山大学都市デザイン学部の開学(2018年度)

都市や地域の創生と持続的発展を通じて、人間社会と自然環境とが共生する理想的な社会の実現に貢献

地域デザインPBL (必修) 全学横断PBL (選択)

デザイン思考の実践
「共感力」, 「協創術」
富山が学びのフィールド

「とやま地域循環共生圏プラットフォーム」の創設(2019年度)

学産官で連携してSDGsを主体的に考え、実践につなげる人材育成を行う組織づくり
(ESDコンソーシアム)



富山における
知の拠点として
富山大学の
保有する技術



多様な主体と連携したSDGsの「自分ごと」 ～普及啓発・実践～

＜官学連携によるSDGsの啓発＞

- ・富山大学「都市デザイン学総論」(受講生130名)において、市職員によるSDGs講義を実践(R1.10.4)
- ・地域PBLを見据え、学生と教員、企業、行政が連携したワークショップを開催(R1.7.24)



左:富山大学講義 右:連携ワークショップ

＜2019年度SDGs出前講座＞

- ・富山大学(3回)富山国際大学(1回)ほか、小・中・高校、団体等への出前講座数:約40校・団体
- ・地元新聞社、ラジオ局、ケーブルテレビなどメディアと連携したSDGs普及啓発の実施



左:FMとやま番組 右:ケーブルテレビ富山番組

2020年度から、新学習指導要領により「**持続可能な社会の創り手**」が期待されることから、SDGs教育の展開を加速化



SDGs推進サポーター登録制度や、SDGs事業補助金を活用することで、**自律的な好循環**を創出



社会課題の多様化 ➡ **共感** 異なる組織や立場がSDGsで繋がる
パートナーシップの重要性



北陸電力との包括連携協定(R1. 7. 1)



北陸銀行との包括連携協定(R1. 8. 9)

「**持続可能な未来に向けた多世代の学びの場づくり**」など、**地域社会の持続的な発展に向けた施策の連携強化**

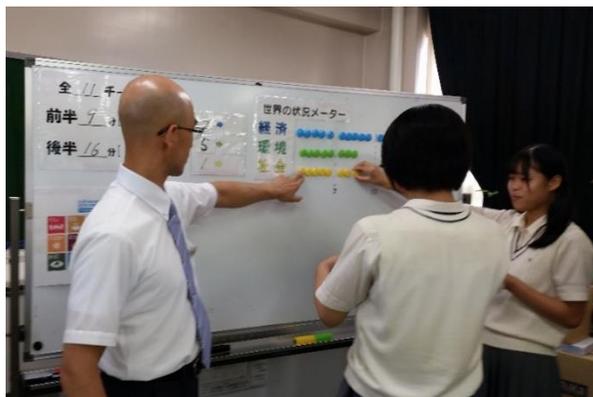
地域が「**ワンチーム**」でESDを推進する足掛かりになった効果

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



SDGsの理解を深めるための取組

民間企業、青年会議所等と連携し、金融教育やカードゲームを体験した生徒が自ら社会課題に向き合い、具体的な提案を実施



「2030SDGsカードゲーム」を使った実践(H30.7.26 富山第一高校)

高校生が、SDGsを理解した後で、富山の地域課題を検討した上での「**未来への提言**」が強い発信力を持つ



JCによるワークショップ(R1.7.28)



北陸銀行・富山市協働での「金融教育」(R1.10.29 富山第一高校)

明日も青い地球であいたい！「ブルーアースプロジェクト」

いま地球上で起きている問題や、その自分たちとの関係を考え、女子大生が問題解決につながるアクションを行い、社会に対して訴える活動を富山国際大学附属高校（ユネスコスクール）と連携して実施



「ブルーアースプロジェクト」メンバー



「アースデイ とやま 2019」での参加(2019.5.19)

富山国際大学現代社会学部と子ども育成学部の学生がSDGs学習ツールとして、小学生向けの「SDGsかるた」を共同制作

絵札に「平和」「飢餓」「環境問題」と地域テーマを組み合わせることで、身近に楽しんでSDGsを学ぶことができた(ESDのスパイラルアップ効果)



富山市立堀川小学校での実践(2019.2.26)